

多事争論 (Real G2 Player 28.8Kbps)

ワールドカップに併せていろんな催しが各地で行われたわけですが、神戸ではやって来る人たちに対して街中に笑顔のポスターが貼り巡らされました。

1人の写真家が300人近くのいろんな表情をとらえて、それがポスターになって街中に貼られたわけですが、神戸はご存知のように、いま震災の痛手、その後でこんなに元気だということを示すのと、震災のときにいろんな人たちが助けてくれた、その人に対する感謝の気持ち、そんなものが込められて、あの催しだったようであります。

この子供たちの中には、下に自分の気持ちを表現した言葉がついておりまして、ある子は「パパが大好きだ」と言い、ある子は「戦争のない世界でいろんな人とサッカーをやりたい」と、思い思いの言葉も下につけられております。

宴が終わるということになりますと、これから厳しい現実が待っているということになります。ワールドカップの間が単にお祭り騒ぎで終わるのか、ここでもらった元気というものを将来に、これから厳しいことがあるわけですが、しかし笑顔を忘れないで立ち向かえるのか、そのことをこの笑顔というものは教えているような気がします。できるだけ「スマイル」「笑い」を忘れたくないものです。

